

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 2 月 13 日  
東京電力株式会社

## < 1 . 原子炉および原子炉格納容器の状況 > ( 2/13 11:00 時点 )

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	14.9	106.6 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 0.9 m <sup>3</sup> /h	24.6	3.64 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	22.2	0.21 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol%

\*：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## < 2 . 使用済燃料プールの状況 > ( 2/13 11:00 時点 )

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料 <sup>プ</sup> ール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.0
2号機	循環冷却システム	運転中	9.7
3号機	循環冷却システム	運転中	8.0
4号機	循環冷却システム	運転中	13.2

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。

## < 3 . タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機 タービン建屋	2/10 10:00 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋 [高温焼却炉建屋])	1/24 14:37 ~ 移送実施中

## < 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > ( 2/13 11:00 時点 )

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中 <sup>*1</sup>	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 5 . その他 >

- ・H26/1/29～凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。
- ・H26/2/11 12:20頃 汚染水タンクパトロールにおいてH4タンクエリア堰内の床コンクリート部に、目視で確認できる範囲で長さ1.5m程度の亀裂を協力企業作業員が発見。2/8(降雪前)の当該堰内水位は0cmであることを確認しているが、堰内には積雪があり、亀裂箇所から水がはけることを確認したことから、念のため当該堰内水の分析を実施。また、同日15:35頃、H4東タンクエリアの堰内床コンクリート部に8m程度の亀裂があることを協力企業作業員が確認。亀裂部付近に水はなく、亀裂部への水の流入は確認されていない。堰内の水の分析結果については、以下のとおり。

### < H4タンクエリア：15:28採水 >

- ・セシウム134 : 検出限界値未満(検出限界値：12 Bq/L)
- ・セシウム137 : 検出限界値未満(検出限界値：17 Bq/L)
- ・ストロンチウム90：17 Bq/L

### < H4東タンクエリア：16:27採水 >

- ・セシウム134 : 13 Bq/L
- ・セシウム137 : 45 Bq/L
- ・ストロンチウム90：2,100 Bq/L

同日、H4およびH4東タンクエリア堰内床コンクリート部の亀裂について、エポキシ系塗料による補修が終了。H4およびH4東タンクエリア堰内の当該亀裂部付近に水はなく、亀裂への水の流入は確認されなかった。また、H4タンクエリアの亀裂について亀裂周辺の雪を取り除いて確認したところ、亀裂の長さは約12mであることを確認。

また、H4およびH4東タンクエリアの各タンクの目視点検において漏えい等は確認できず、汚染水タンク水位計による常時監視(警報監視)においても異常はなかった。

なお、H4エリア周辺地下水(F-1：当該タンクエリア上流部、E-11及びE-12：当該タンクエリア下流部)の分析結果については、以下の通り。

### < E-11(当該タンクエリア下流部)：2/12採水 >

- ・全ベータ : 25 Bq/L

### < E-12(当該タンクエリア下流部)：2/12採水 >

- ・全ベータ : 検出限界値未満(検出限界値：17 Bq/L)

### < F-1(当該タンクエリア上流部)：2/11採水 >

- ・全ベータ : 検出限界値未満(検出限界値：17 Bq/L)
- ・トリチウム : 660 Bq/L

当該タンクエリア周辺の地下水の上流部、下流部共に前回と比較して有意な変動はない。

## 【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

### < トピックス >

- ・H25/12/10 10:10～汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

### < タンクエリアパトロール実績(2/12) >

- ・高線量当量率箇所( + 線(70µm線量当量率))は確認されず。なお、積雪による影響のため一部測定を実施していない。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

### < H4エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

## 【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

### <トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は2/13 0:00 時点で約 7,728m<sup>3</sup> \*集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

### <地下水観測孔サンプリング実績>

2/12 地下水観測孔 No.1-13 のサンプリングを実施(初採取)。分析結果は以下のとおり。

#### 【地下水観測孔 No.1-13 の測定結果:2/12 採取分】

- ・セシウム 134 : 22,000 Bq/L
- ・セシウム 137 : 54,000 Bq/L
- ・全ベータ : 260,000 Bq/L

セシウムについては、周辺の地下水観測孔と比べて高い値が検出されており、今後、監視を継続する。

その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### <移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

## 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

### <トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H26/1/30～ 地下貯水槽 No.1～3 における貯水槽内部の残水について、H1 東エリアタンクへの移送を適宜実施。

### <地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上